

「いじめについて考える週間」(6/4~6/10)

新学期のスタートから1ヶ月余り。新しい環境にも慣れ、子どもたちが活発に動き始める時期です。しかし、一方で人間関係のトラブルが起きやすいのもこの時期。岡山県教育委員会では、6月第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」としています。いじめの未然防止、起こったときの対応等、いじめについて理解を深める機会にしてください。

H二十三年度岡山県教育委員会教育長賞
倉敷市立東陽中学校二年 黒木 結生

(未然防止) **させない**

- 児童会・生徒会等自主活動の活性化
- 道徳・特別活動等での取り組み
- 相談活動の充実
- 授業参観、講演会等、保護者への啓発
- ポスター、作文、標語等作成による意識化 …等

学校の状況が把握できていますか。

「いじめ防止ポスター」募集
かかせるだけでなくポスター活用の取り組みを(校内掲示等)



(早期発見) **見逃さない**

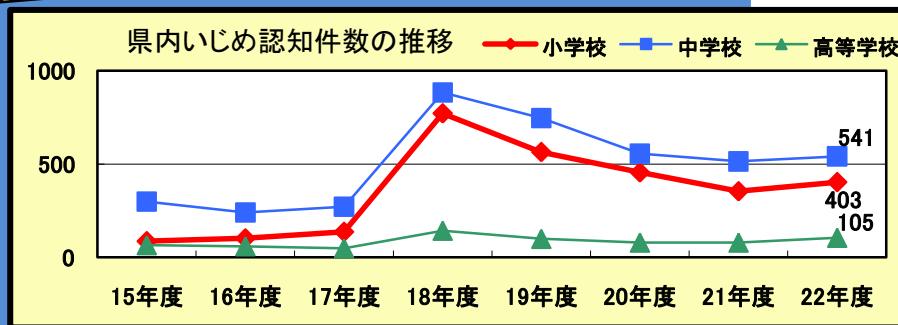
- 子どもの変化に敏感に
 - ・体調不良の訴え、欠席、遅刻の増加
 - ・人間関係の変化
 - ・衣服の汚れ
 - ・金品の持ち出し …等
- 周りからの指摘に敏感に
 - ・他の子どもや地域の方からの目撃情報 等

課題は共通理解できていますか。

(解消・改善) **許さない**

- いじめを見つけたら → すばやい対応
 - ・被害児童生徒の安全確保
 - ・情報収集・職員の連携
 - ・加害児童生徒への指導(毅然と、かつ丁寧に)
 - ・保護者への協力依頼
- 指導困難なときに → 根気強い対応
 - ・職員の共通理解の徹底
 - ・被害児童生徒への支援
 - ・関係機関等への協力依頼
 - ・学校・学級集団づくり

担任まかせにせず、組織的に取り組んでいますか。



「いかなる理由があろうともいじめはぜったい許さない」
教師の毅然とした態度が、子どもたちの安心した学校生活の土台です。